

質問書に対する回答

(件名) 上信越自動車道 佐久管内橋梁補修検討業務

質問書No.	質問箇所	質問事項	回答
1	調査箇所へのアプローチ方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩分測定用試料採取は柱基部での試料採取となっておりますが、調査時期は冬期間で積雪が予想されます。試料採取箇所へのアプローチが可能か確認したい。</li> <li>・残存板厚測定は主桁端部（橋台橋座部）での測定となっておりますが、路面から徒歩によるアプローチが可能か確認したい。徒歩によるアプローチができず橋梁点検車を使用する場合には、冬季の高速道路上の交通規制が可能か確認したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他管内と比べ積雪量が少ないことから問題ないと考えております。</li> <li>・一般道から徒歩によりアプローチ可能です。</li> </ul>
2	鋼材外観調査の方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査内容は近接目視で健全度評価の評価単位が橋軸方向に両端部と端部以外となっております。端部以外の近接目視は橋梁点検車による調査となるか確認したい。※冬季の高速道路上の交通規制については、質問1と同様です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁点検車を用いての調査は想定していません。</li> </ul>
3	部分引渡しについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐候性鋼材橋梁詳細調査の結果、上部工の仮受や支承取替えなど設計項目が追加となった場合には、令和5年7月の引き渡し時期が延長となるか確認したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加項目が発生する等、当初設定していた条件からの変更により、引き渡し時期に支障が出る事が確認されれば、監督員と協議となります。</li> </ul>